

ネイチャー・ウォーク

令和2年10月号
2020.10.24発行
(通巻第322号)

ECO  SAITAMA

公益財団法人
埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

■9月のネイチャー・ウォーク

今度こそ歩きたい廃線ウォーク(その6)

(東武東上線・高坂駅 集合・解散)

3～5月はコロナで中止、6、7月は雨天で中止。9月のネイチャーは、実に半年ぶりという満を持しての開催となりました。秋雨の合間、暑さも落ち着きまさに外出日和。総勢27名が再会を祝しながら、廃線跡を歩きました。

集合写真は、東松山市化石と自然の体験館横の「ばんどう山第2公園」で、密防止を意識した、ゆるーく集まってハイチーズ！



前日の雨はやんでいましたが、朝から曇天模様。降り出さないでねと祈りつつ、高坂駅の西口からスタート。今回歩くコースは、東松山市が指定した「まなびのみち」の一部です。

お膝元である東松山・鳩山・滑川支部から、小山支部長と支部の皆様も参加してくださいました！

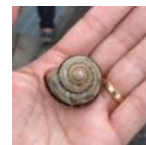


途中まで立派な遊歩道・自転車道が整備されています。



数年前に開発された工場団地脇を通過して、山の中の道に入ります。開発前はトウキョウサンショウウオが生息していたそうです。

一部倉庫を迂回するように、ゴルフ場の脇の山道を歩きます。急すぎる階段をそろーりそろーり。雨上がりの道にはたくさんのマイマイ。(↓推定) ヒタリマキマイマイ ミスジマイマイ コバシマイマイ



今回の廃線は、貨物専用でセメント原料運搬として使用されていた線路です。路用地は市に寄贈され遊歩道として整備されました。



トンネルの上には廃線の名残りも（電線を吊るす金具）。



あっ。スズメバチの巣が！ 静かに通り過ぎます。



リーダーA（鉄男）の熱い解説！

遊歩道に張られたロープには、たくさんのニホンアマガエルの姿が。みんな同じように器用に乗っていました。縄張り主張か、雨の余韻に浸っているのか・・・



遊歩道に線路の面影が残っています。



遊歩道からのぞむ田園風景。青空が見え始めました。



ノスリやチョウゲンボウなどの姿も。



藤棚の下で昼食タイム。



昼食のあとは Walk 出現認定証の授与式。今回は 1 名の方に認定証と豪華な粗品を Walk り（お贈り）しました！
昼食場所は駅まで行くバス停あり！帰り道は、無理せず乗る方法と、駅まで行きと同じ遊歩道を歩く方法と二通りありました。とにかくネイチャー無事再開！うれしい一日でした。

次回もよろしくお願ひします。